

お客様・ビジネスパートナー各位

コーポレート・ロゴについて

このたび、福井キャノン事務機株式会社は、独自のコーポレート・ロゴをつくりました。約34年の歴史の中で、初めてのことです。



■FUKUI CANON に続く “B” の表す意味

“B” はビジネスの B を意味します。

そのまま社名の「事務機」を直接英訳すると「ビジネスマシン」となります。そこで B のスペルの後に “.” (ドット) を付けることで、“B” の後に続くスペルを省略させ、ビジネスマシンに限定するのではなく「ビジネスソリューション」という新たな方向性や発展性の意味を持たせました。

二通りのロゴがありますが、いずれも “B” の形状は同じで反転させた時のデザインです。取り扱うシーンによって使い分けをします。

■ “B” を形づくる要素のデザイン的な表現

上に向かった三角形はビジョンの方向性を重視していることを示し、右側は「革新のダブルループ」を表しています。言い換えれば、「小さな改善の積み重ねが大きな革新に向かってゆく」学習組織を意味します。

同時に 三本の線と形は、数字の “3” を示し、

- 1、「社員」・「お客様」・「地域社会」の三位一体の成長・発展への貢献
- 2、「正・反・合」という弁証法的思考にもとづいた対話による革新的発展性
- 3、「守・破・離」という「基礎→応用→創造」のステップを踏んで独自性・自立性を追求して成長する姿の思いを表現しています。

※正反合とは、ある判断（正）とそれと矛盾する判断（反）がある場合どちらか一方で判断するのではなく、正反二つの判断を統合したより高い判断（総合）を求めることです。

※「守」は教え（基本型）を確実に身に着けるステップ。「破」は次のステップとして教えを守るだけでなく自身で応用・工夫すること。「離」は最終的には自立して独自のものに発展させてゆくという「花伝書」の教えです。

2006年11月1日

福井キャノン事務機株式会社 広報担当